

一般質問

さ さ き つね こ
佐々木 常子 議員

質問の
ねらい

安心・安全の当別町に

近年、性犯罪が過去 10 年で最多、3 年連続で増加し、高止まりの状況である。性犯罪・性暴力は被害者の尊厳を著しくふみにじり、長期にわたって重大な影響を及ぼす。自分の身は自分で守っていけるように「心

と体を守る教育」は重要であり、子どもたちを性犯罪・性暴力の加害者・被害者・傍観者にしないための「生命の安全教育」は必要である。全国で先進的に取り組む事例を参考に、町の考えや取り組みを質す。



動画はこちら

ここが
聞きたい

紙おむつリサイクル

問

石狩のリサイクル施設を視察した。紙おむつをパルプとプラスチックに分別し、リサイクルする。介護施設が多い当別町ではごみの減量・再資源化の効果が大きいと考える。導入する考えはあるか。

答

全国で実証・導入の検討が広がっており、石狩市でも民間施設が本格稼働したと承知している。設備の費用、回収・分別の手間などの課題への対応を先進事例から学びつつ今後の状況を注視する。

ここが
聞きたい

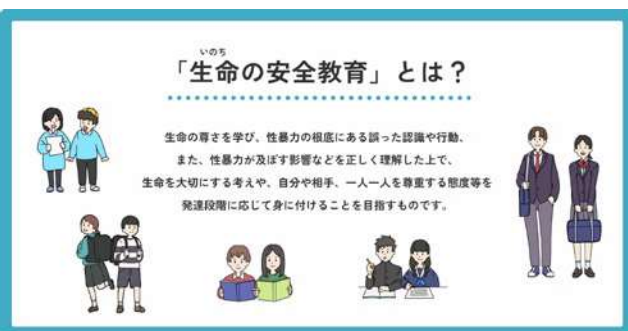
借り上げ町営住宅の進捗は

問

年を重ねると階段が負担になる。平屋の町営住宅は経年により寒く、春日団地は 1 階の申込者が多いと聞く。民間マンションを借り上げ、町営住宅として使う取り組みの進捗状況を伺う。

答

令和 5 年に民間アパート借り上げ制度の勉強会、令和 6 年に入居希望調査、昨年よりオーナー等へヒアリングを実施。加えて町営住宅長寿命化計画の改定を進め、戸数やスケジュールを定めていく。



詳しくは、文部科学省のホームページをご確認ください

ここが
聞きたい

借り上げ町住 早期入居は

問

大学移転の話が出てから、町内居住の学生も以前より減り、空室があると聞く。エレベーターのある「借り上げ町営住宅」へ、大学移転前でも早めに入居することは可能か。

答

アパートを借り上げるには建物の構造や設備、家賃、オーナーとの契約条件、入居者の負担額など、多くのことを詳細に検討する必要がある。国や道との調整も必要のため、計画的に進めていく。

ここが
聞きたい

生命の安全教育 事例

問

全国で性犯罪・性加害が増加している。大阪の先進事例では、義務教育学校の 9 年間で生命と体の大切さを教え、校内暴力が減少している。当別町での生命の安全教育への取り組みを伺う。

答

学習指導要領に基づき、性被害・性加害防止、薬物乱用防止、人権尊重など発達段階に応じて指導している。今年度、教職員研修を実施予定。家庭・学校・地域が一体となって推進していく。

ここが
聞きたい

生命の安全教育研修会

問

青森市では子どもたちを性犯罪・性暴力の加害者・被害者・傍観者にしないための生命の安全教育の研修会を開催し、概要をリーフレットとして家庭に配布。PTA 等も含め全体的な形で実施できないか。

答

重要性は認識している。家庭・学校・地域がそれぞれ役割を果たし、連携・協同することが必要である。学校や教育委員会として発信する機会をつくることを含め、取り組みを検討していく。

「ページの読みやすさ」について、アンケートにご協力ください。





動画はこちら

一般質問

よしかた ゆき お
芳形 幸夫 議員

質問の
ねらい

医療機関対策・公共施設等の課題

全国的に医療機関の経営は厳しい状況にあり、町内からも非常に厳しい状況であるという声が届いている。町内医療機関の現状認識と、町独自の支援策の必要性に対する町の考えを質す。また、老朽化が進む町

内の公共施設等の維持管理に対し、「第2次当別町公共施設等総合管理計画」が示された。現状認識、維持管理上の課題、計画の基本的考え方、町民意見の反映方法、コンパクトなまちづくりの方向性を明らかにする。

ここが
聞きたい

運営状況について町の認識

問

物価高や人件費増、医療材料費等の高騰で医療機関の経営が悪化している。診療報酬3.09パーセントの引き上げでは不足との声がある。町内医療機関の現状をどう捉えているか伺う。

答

診療報酬は2年ごとに改定されるため、物価・賃上げに機動対応できず医療機関は苦勞していると認識。町としても、地方の実情や人材不足に対する意見を北海道町村会への提言を通じて国へ要望。

ここが
聞きたい

新たな支援策へ町の考えは

問

医療機関は高齢化が進む本町にとって必要不可欠な存在である。町では医療機関に対する新たな支援策や支援制度の拡充を検討する考えがあるか伺う。

答

町は令和8年度から医療人材確保支援事業を実施。今後も医療体制確保に必要な施策について、医療機関の意見を踏まえ検討を続ける方針である。

ここが
聞きたい

総合管理計画 認識と課題

問

公共施設等の老朽化が課題。人口減少や少子高齢化も進む中、将来負担を抑えるため、計画的な施設管理と適正配置が求められている。この現状への認識や、特に課題となる施設分野の見解は。

答

築30年以上の施設等が8割近くを占めるなど老朽化が進行していること、また上下水道や道路・橋など生活に欠かせない施設の維持更新コスト増大が課題であると認識している。

ここが
聞きたい

町民の声や意見聴取は

問

公共施設は町民共有の財産であり、将来のあり方として、総合管理計画の実行段階でも町民の理解と協力を仰ぐべきと考ええる。本計画策定にあたり、町民の声や意見をどのように聴取したか伺う。

答

計画案の段階でパブリックコメントを実施し、町民の意見反映に努めた。結果、4件のご意見をいただき、これらに対する町の考え方や対応を、町ホームページで公表した。

ここが
聞きたい

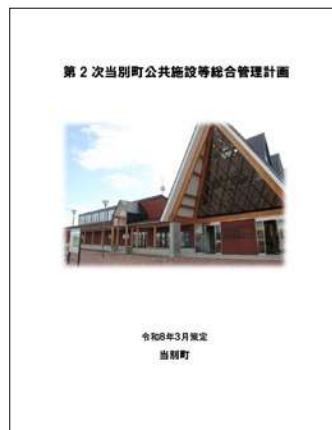
コンパクトな町づくりとは

問

本計画では「コンパクトなまちづくりを進めることで、持続可能な施設配置を目指す」とある。町が目指す具体的な姿と考え方を問う。

答

人口減少が進む中でも持続可能な町を目指し、当別町立地適正化計画に基づき、居住や生活サービス機能を中心部へ緩やかに集約する考え方である。



詳しくはこちら

今年3月に策定された第2次当別町公共施設等総合管理計画

※1 診療報酬…医療機関が行う診療行為に対して公的医療保険から支払われる対価(医療価格)のこと。今年6月に引き上げられた。



一般質問

いがらし のぶ こ
五十嵐 信子 議員

質問の
ねらい

肺炎予防対策と地域の魅力向上を

高齢化が進む中、肺炎の重症化予防は健康寿命の延伸や医療費抑制の観点から重要である。RS ウイルス感染症の重症化リスクへの認識、情報提供や医療機関との連携、経済的負担の軽減策について質した。また、

来年迎えるスウェーデン・レクサンド市との姉妹都市交流 40 周年を契機に、当別町の強みである花とスウェーデンの魅力、地域資源を活かしたまちづくりや町民参加による交流の発展について町の考えを質した。



動画はこちら

ここが
聞きたい

肺炎予防の現状把握

問

高齢者向けのワクチン接種（肺炎球菌・インフルエンザ・コロナ）の対象者数や助成内容、接種率の状況は。また、未接種者の傾向や接種しない要因をどう分析するか。

答

各ワクチンの接種状況は担当より回答する。ワクチン接種は個人の判断によるものであるため、特定の要因があるとは分析していない。町としては情報提供に努める。

各ワクチンの接種状況（福祉部長からの回答）

自己負担がおおむね 3 割程度となるよう町の負担額を設定している。

肺炎球菌ワクチン

公費負担 8,175 円 / 1 件

- ・ 65 歳の誕生日～ 66 歳の誕生日の前日までの方
- ・ 60 歳以上で一定の基礎疾患がある方

対象者 258 名 接種者 63 名 接種率 24.4%

インフルエンザワクチン

公費負担 2,887 円 / 1 件

- ・ 65 歳以上の方
- ・ 60 歳以上で一定の基礎疾患がある方

対象者 5,938 名 接種者 2,764 名 接種率 46.5%

新型コロナウイルスワクチン

町の補助 10,800 円 / 1 件
(令和 7 年度～国費補助無し)

- ・ 65 歳以上の方
- ・ 60 歳以上で一定の基礎疾患がある方

対象者 5,938 名 接種者 429 名 接種率 7.2%

ここが
聞きたい

RS ウイルス感染症の取組

問

高齢者の RS ウイルス※¹感染症は重症化リスクが高いとされているが、町の認識は。また、医療機関や高齢者施設との連携、情報提供、経済的負担軽減策など今後の対応を問う。

答

重症化リスクはあると認識。大人の場合検査を実施しないことも多いため医療機関との情報連携は行っていない。今後は住民への情報提供を進め、負担軽減は福祉施設全体の優先度を踏まえ判断する。

ここが
聞きたい

花のまち当別の魅力発信

問

道内有数の花卉生産地という特色を生かし、さらに「花のまち当別」のブランド向上と町内外への効果的な魅力・情報発信を、どのように進めていくのか。

答

花卉生産組合の技術により高品質・安定供給で全国から高評価を得ている。道の駅やイベント出店、SNS発信に加え、新たに国外へ試験輸出を開始。関係機関と連携し、ブランド化・情報発信に努める。

ここが
聞きたい

姉妹都市交流 40 周年

問

来年はスウェーデン・レクサンド市との姉妹都市交流 40 周年という節目の年。これまでの交流の歴史と文化を生かしながら、町民参加型の記念事業へと発展させていく考えはあるか。

答

当別・レクサンド都市交流協会が中心となり訪問団を結成し、レクサンド市を訪問する方向で調整中である。町民参加の交流を大切に、40 周年にふさわしい事業となるよう関係団体と連携を図る。

ここが
聞きたい

花ロード整備構想

問

スウェーデン大通りを『花ロード』として整備し、花とスウェーデンを象徴する景観づくりを進めていく考えはあるか。

答

景観づくりには、予算や維持管理、町民協力

といった多岐にわたる課題がある。実現性を含め今後の方向性について検討していく。町を花で飾りたい思いはあるが、そのためにはさまざまな課題があり、実現できていないのが現状である。

※1 RS ウイルス…小児や高齢者に呼吸器症状を引き起こすウイルス。2歳までにほぼ全ての乳幼児が1度は感染するとされている。





動画はこちら

一般質問

かく た ひろすけ
角田 広佑 議員

質問の
ねらい

町職員兼業とパソコン端末の処理

地方公務員法にて、公務員の兼業は禁止されているが、昨今の人材不足を勘案し、容認する自治体が増えてきている。当別町の現状と、今後どのような対応を検討しているかを質す。国や道の機関等で、ハードディ

スク端末の情報漏えい事件が発生した。不適切な処理方法や虚偽の報告など重大なコンプライアンス違反が見られた。町や教育委員会で所有するパソコン等の処分やデータ消去等の処理方法について質す。

ここが
聞きたい

町職員の兼業

問

地方公務員は、原則として兼業が禁止されているが、条件によっては認められている。町職員の兼業について、町はどう対応しているか質す。

答

地方公務員法に基づき、任命権者^{※1}の許可があれば可能と規定しており、町では会計年度任用職員^{※2} 6 名に兼業を許可している。

ここが
聞きたい

今後の町の方針は

問

総務省は令和 7 年に、「兼業を一律禁止せず、利益相反^{※3}等の適正管理を条件に容認する」判断を全国自治体に対し通知した。この通知を踏まえ、町の方針を質す。

答

国の動向や先行事例を注視しつつ、職務専念義務^{※4}や労働基準法との整合性を図りながら、許可基準の制定等を含めた兼業制度の活用について検討する。

一問一答！これ、どういう意味？

- ※1 任命権者…
職員を採用・管理する権限を持つ人（町長、教育長など）
- ※2 会計年度任用職員…
1 年ごとに契約を更新する非常勤の地方公務員
- ※3 利益相反…
利えきそうはん
公務（公共的責任）と兼業先の利益・利害が対立する状況
- ※4 職務専念義務…
勤務時間中は職務に専念しなければならないという決まり
- ※5 HDD（ハードディスクドライブ）…
パソコン等でデータを保存するための記憶装置
- ※6 GIGA スクール…
全国の小中学校に一人一台端末と学校 ICT 環境の整備を行い、教育の質を向上させることを目的とした取り組み

ここが
聞きたい

地域部活動との兼ね合い

問

町では今年度、学校部活動の地域クラブ移行を支援運用する予定。その際指導者に対して報酬を支払うこととしている。町職員が指導者となった場合、報酬は受け取るようになるのか。

答

今後、兼業制度の活用について検討する中で、地域部活動指導者を認めることも含めて、報酬等の取扱いについても今後判断していく。

ここが
聞きたい

更新済みパソコン 処理方法

問

国や道で情報漏えい事案が発生。端末更新時に、本来は破砕し処分するはずの HDD^{※5}が適切に処分されなかったことが原因。町保有機器の更新サイクルと処理方法、完了報告の確認方法を質す。

答

町のパソコンは 5 ～ 6 年ごとに更新。使用済み機器は当別町情報セキュリティポリシーに基づき、復元不可能な状態にして処分しており、直近の事例では、職員が直接確認して完了としている。

ここが
聞きたい

小中学校端末の処理方法

問

全国教育委員会を対象とした GIGA スクール^{※6}端末処分の実態調査で、適切な方法でデータ消去を行ったのはわずか 12.5 パーセント。今年度更新した町の小中学校の端末の処理方法を伺う。

答

今年 1 月に更新した古い学習端末は、町の機器と同様に、当別町情報セキュリティポリシーに基づき処分している。個人情報流出を防ぐため、慎重に作業を進めている。



一般質問

やまざき こうじ
山崎 公司 議員

質問の
ねらい

町内バス運行の早急な方向性

今回、連続 45 回目の節目の質問。
①政府が、武力攻撃を受けた際に住民が避難する施設「緊急一時避難施設」の確保を全国市町村に求めている。地下シェルターの確保が課題である。②北海道医療大学が令和 10

年 4 月に北広島市に移転し、バス利用者が大幅に減少する見込みである。町民の足としてのバス運行について、早急に方向性を新たな総合戦略に盛り込むことが重要と考える。以上2項目について質問した。



緊急一時避難施設

弾道ミサイル攻撃による爆風等からの直接の被害を軽減するための一時的な避難先のこと。

- ①旧当別小学校校舎、②当別町立とうべつ学園、③同学園体育館、
④旧弁華別中学校校舎、⑤当別町立西当別小学校校舎、
⑥当別町立西当別中学校校舎、⑦旧中小屋小学校校舎、
⑧旧中小屋中学校、⑨北海道当別高等学校校舎、
⑩当別町総合体育館、⑪白樺コミュニティーセンター、
⑫西当別コミュニティーセンター、⑬道の駅「北欧の風とうべつ」



避難施設・緊急一時避難施設は
内閣官房 国民保護ポータルサイトで
確認することができます

当別町の避難施設 64 カ所のうち、13 カ所が緊急一時避難施設に指定されています

ここに
聞きたい

施設の堅牢性調査が必要

問

「緊急一時避難施設」の確保のため、町内既存施設の堅牢性^{※1}調査を早急に行うべき。役場庁舎や学校、コミセンなど、どの施設が指定可能か優先的に整理すべきと考えるが、町の見解は。

答

町内では学校や総合体育館など 13 施設を緊急一時避難施設に指定しており内閣府のホームページでも公開している。これらの施設はコンクリート造等で堅牢であり、改めて調査は不要と考える。

ここに
聞きたい

地下化の実現に向けて

問

公共施設の建て替え・改修時に地下化を標準化し、コスト最適化や国補助の活用、町民の理解促進が必要と考えるが、町の見解を問う。

答

地下施設は緊急避難場所として有効だが、設置には莫大なコストを要するため、標準化は現実的でないと考える。補助制度など、今後の国の動向を注視しながら研究していきたい。

ここに
聞きたい

学生のバス利用減少数

問

北海道医療大学の移転により、バス利用者は確実に減少する。学生の利用減少をどのように想定しているのか。

答

利用実績を踏まえると、大学移転後は利用者全体の 35 パーセント程度が減少すると想定する。現在の年間利用者が約 15 万人であるため、約 4 万 8 千人の減少を見込む。

ここに
聞きたい

運賃 200 円『維持困難』

問

バス運賃 200 円は、燃料高騰や運転手不足で運行コストが高く、維持困難になる可能性が高い。段階的引上げ、距離別運賃、定期券の価格再設定など見直しを検討すべきと考えるが、町の見解は。

答

収入確保の手段の一つとして検討してきたが、利用者負担増による利用減少も考慮し、現行運賃を維持。公共交通の維持には収入確保が不可欠なため、見直し方法を含め協議会に諮っていく。

ここに
聞きたい

運行ルートの変更が必要

問

北海道医療大学中心の運行ルートから、町民生活中心のものへ見直す必要がある。町民ニーズを把握するため、アンケート調査を実施してはどうかと考えるが、見解を問う。

答

町民ニーズや利用状況に基づいた運行をしており、大学中心ではないと認識している。今後も利用者のニーズを踏まえた路線の見直しをはじめ、効果的な意見聴取の方法も検討していく。

※1 堅牢性…地震や強風、火災などの外力に耐え、長期間にわたって安全な状態を維持できる物理的な強さや耐久性のこと。





動画はこちら

一般質問

あきば しんいち
秋場 信一 議員質問の
ねらい

8千ポイント付与も利用の問題は

物価高騰対策と地域経済の活性化を目的とし「とうべつ EZOCA」を保有する全町民に8千ポイントが付与される。このポイントはEZOCA提携店限定の利用となることから、事業者間の公平性に課題がある。

町内事業所の存続を支援するためには、大小問わず多くの事業所の参加が求められている。「とうべつ EZOCA」の現状と課題、今後の運用方針について、町の考えを質す。

ここが
聞きたい

事業手法の妥当性

問

本事業では、EZOポイント8千ポイントがもらえる。住民からなぜEZOCAなのか問われ、説明する機会も多い。商品券やスマホ決済など、他の手法との比較検討は行ったのか。

答

迅速な支援実施と町民への還元率向上、事務費・手数料の抑制を念頭に置き、複数の支援方法を検討。結果、申請不要で速やかにポイント付与できるEZOCAのポイントが最も効率的と判断した。

当別町民のみなさん！

「とうべつ EZOCA」、もう作成しましたか？



締め切り迫る！！

8月31日までに登録（新規・切り替え）をお済ませください！

「とうべつEZOCA」を保有する全町民に対して、**8,000ポイント**を付与します。



事業の詳細はこちら

ここが
聞きたい

運用上の課題は

問

町に根付き知名度も高い「とうべつEZOCA」。EZOポイント付与は合理性が高い事業で評価できるが、利用できる店舗が限られている。とうべつEZOCAの運用上の課題をどう認識しているか。

答

本事業を通じてカード保有者が増加し、町内経済のDX化が進むと認識。地域カードとして成長するには提携店の増加が必要不可欠。当別ポイントカード会と連携し提携店拡大に取り組んでいく。

ここが
聞きたい

サマーセールとの連携は

問

商工会が主催のサマーセールは約120店が参加する一方、当別ポイントカード会内のEZOCA提携店は約30店にとどまる。この差を埋めるため、サマーセールとの連携をどう考えるか。

答

サマーセールは重要な消費者還元機会と認識。ポイント付与を同時期を行うことで町内消費拡大が期待できる。そのためにはカード保有者増と提携店拡大が重要。カード会と連携し取り組んでいく。

ここが
聞きたい

今後の寄付金の使途は

問

健康マイレージ事業と当別ポイントカード会の支援に活用されているサツドラからの寄付金。今後、事業者拡大など新たな使途を考えているか。

答

現在は健康マイレージ事業や当別ポイントカード会への支援に活用している。今後これらの事業を検証しつつ、町民に還元できる様々な活用方法について検討を進めていきたい。

ここが
聞きたい

恩恵を受けられない方は

問

「とうべつEZOCA」に申し込まない方を含め、ポイント付与を受けられなかった方に対し、町はどのような対応策を考えているか。

答

現時点で未加入の方は8月末までに申請することでポイント付与できる対応を取っている。百パーセントに近づけるため、商工会や当別ポイントカード会と連携し、加入促進に向けた取り組みを強化していく。

「ページの読みやすさ」について、アンケートにご協力ください。

